

第2章

津波の歴史 ①

副読本 20 - 21 ページ

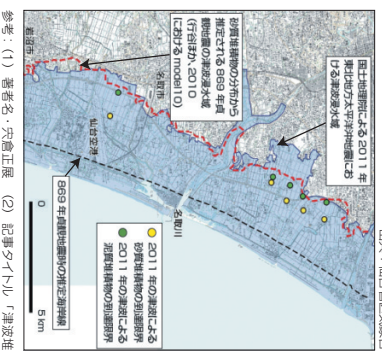
年 組 番 名前

1 過去の津波災害を調べ、どのような被害あったのか書きましよう。

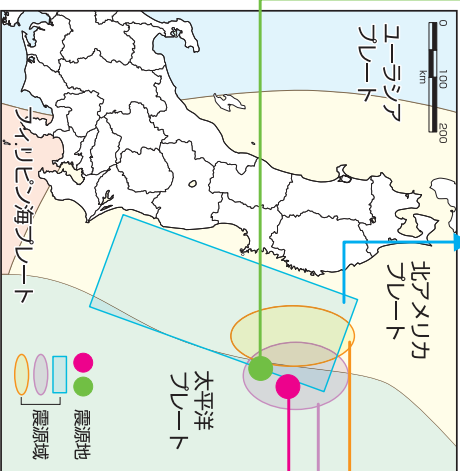
869(貞観11)年の地震 [M8.3]

城郭、倉庫などが崩れ落ち、津波が襲来し、海水は城下(現在の多賀城市)にまで到達。死者がおおよそ1,000人。

出典：仙台管区気象台



2011(平成23)年 [M9.0]
東北地方太平洋沖地震の震源域



1611(慶長16)年の地震 [M8.1]

三陸地方で強震。津波による被害が大きかった。伊達政宗領内で死者1,783人。宮城県岩沼市などにも津波がおし寄せた。

貞観、慶長の津波も内陸まで遡水したんだね。



出典：仙台管区気象台ホームページ

1896(明治29)年
明治三陸地震 [M8.2]

午後7時半ごろ震度2〜3の地震発生。三陸沿岸に地震後約35分で津波が襲来。死者4,693人(県内)。揺れが小さくても津波が来たんだね。



出典：宮城県災害年表、内閣府「災害史」学芸、中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」



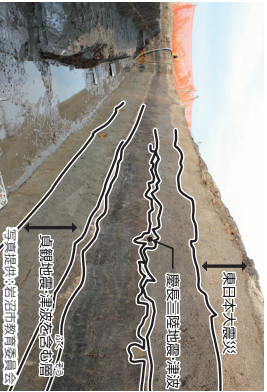
1933(昭和8)年 昭和三陸地震 [M8.1]

午前2時半ごろ震度5の地震発生。三陸沿岸に地震後約30分〜1時間で津波が襲来。死者「行方不明者308人(県内)」。



出典：宮城県災害年表、内閣府「災害史」学芸、中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」

※M=マグニチュード



時代の異なる3層の津波堆積物を発見 (岩沼市)

その他にも、どのような津波災害があったのか調べてみましよう。